

《現場紹介》

田原第二幹線 A工区B工区

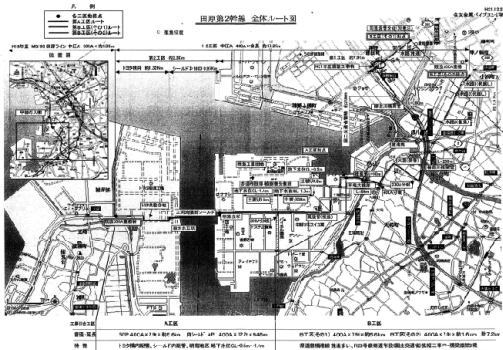
豊橋営業所 高井 大輔

当現場は、ガス管理設工事で開削で施工が出来ない用水路や既設構造物の下越し、交通量の多い道路横断などの箇所を推進する工事でした。また、公共事業とは違い、現場に合わせて最もコストが安く効率のよい施工方法を提案して施工してほしいとのことでした。

現場の条件としては、 $\phi 400\text{mm}$ のガス管が通せるさや管である $\phi 500\text{mm}$ 及び $\phi 600\text{mm}$ の鋼管が推進でき、立坑も極力小さく、砂層で湧水が多いのでそれに対応出来る工法の選定という事で、今回は当社の開発した泥水方式で施工を可能とするPASシステムをスピーディー工法ではなく、三管王工法に取り付け推進する方法で提案いたしました。これは一般的な工法ではなく、また実績も非常に少ない方法ではありますが、ケーシング立坑なら $\phi 2000\text{mm}$ より $\phi 500\text{mm}$ 田田及び $\phi 600\text{mm}$ の1mの鋼管が発進可能であり、滞水砂層にも強いという非常に希少な工法となります。

実施工の方は、実績も少なく些細なトラブルや問題点なども多々ありましたが、無事施工を終わらせることが出来ました。これは、現場にかかわって頂いた皆様のおかげだと感謝しております。2月頃より続きの施工も控えておりますので、再度事故等がないように、また、現場にあつた良い工法の提案をして施工を行っていきたいと思います。

また、三管王PASについてですが、改良要素も多いのですが、これらを解決していき、より施工しやすく、施工機能の向上を図ることが出来ればとても良い工法になると思います。やはり、 $\phi 2000\text{mm}$ から $\phi 600\text{mm}$ の鋼管が施工可能というメリットは大きいと思いますので、どこかで似たような条件があれば提案してみたいかがででしょうか。



PAS SP-600 鋼管用先導体



PAS SP-600 先導体側面



マシン到達状況



$\phi 2,000\text{mm}$ 立坑ケーシングより推進中

【工事概要】(敬称略)

工事名: 田原第二幹線 A工区B工区
元請: JFEエンジニアリング株式会社~株式会社中部
工事内容: 推進工... $\phi 500\text{mm}$, $\phi 600\text{mm}$ 小口径二工程泥水工法
三管王PAS
薬液注入工...複相注入
立坑工...ケーシング立坑 $\phi 2000\text{mm} \times 8\text{基}$
その他...ウェルポイント工、エアーマルタル注入工等